資料３

鎌倉市
社会基盤施設マネジメント計画策定委員会

令和６年度 第１回委員会説明資料
2024年8月19日(月)

目次

01 鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改定について

(1)　改訂方針について　・・・・・・・・・・・・・・スライド1

(2)　改訂の進め方について　・・・・・・・・・・・・・・スライド3

(3)　これまでの計画の評価について　・・・・・・スライド8

02 その他

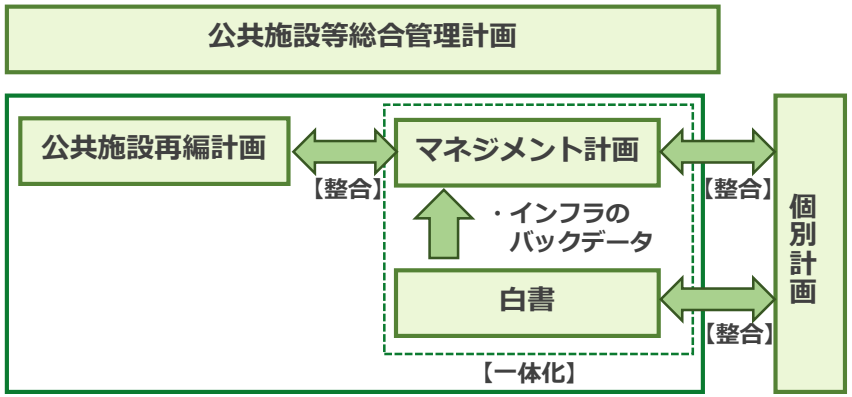
・　次回委員会について　・・・・・・・・・・・・・・スライド10

1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（1）改訂方針について

マネジメント計画の見直しの必要性

・鎌倉市ではインフラ老朽化が進んでおり、インフラ管理の課題解決が必要
・上記取組として白書、マネジメント計画（40年間）を過年度に策定
・令和7年度（2025年度）に短期計画期間の終了を迎えるマネジメント計画について計画の評価及び検証を踏まえた時点修正の実施が必要

計画の位置づけ



これまでの取組

平成27年（2015年）	鎌倉市社会基盤施設白書 策定
平成28年（2016年）	鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画 策定
平成30年（2018年）	鎌倉市社会基盤施設白書 改訂
令和5年（2023年）	公共施設再編計画、公共施設等総合管理計画改訂

＜マネジメント計画見直しのポイント＞
・時点修正
・PDCAサイクルに基づく評価・検証
・施設別マネジメント計画の記載事項の整理
・将来経費の試算

1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（1）改訂方針について

マネジメント計画の見直しの方向性

・白書及びマネジメント計画を再編集して下記の観点より整理
・市民に施策として認識してほしいこと（主にマネジメント計画に記載）を本編として整理
・バックデータとなるデータ類（主に白書に記載）は別冊（資料編）として整理
・統合により各々に記載されていた重複箇所を絞ってスリム化し、全体をシンプル化

【本編】

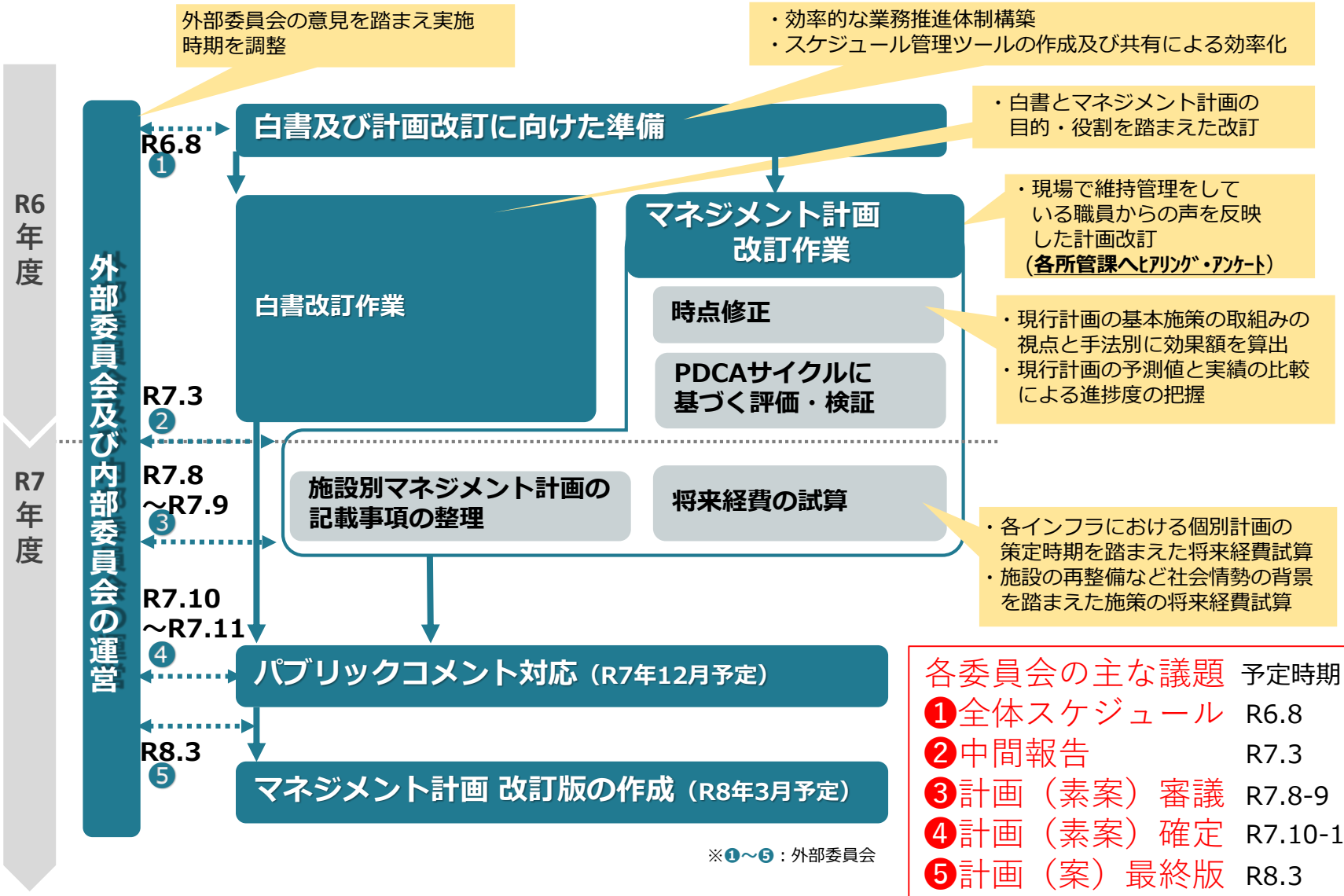
本委託(見直し後)		平成28年・平成30年時(見直し前)		
記載内容		現行の計画	該当内容	
第1章	計画の目的と位置付け	マネジメント計画	第1章	計画の目的と位置付け
第2章	社会基盤施設のマネジメントの基本方針	マネジメント計画	第3章	社会基盤施設のマネジメントの基本方針
第3章	施設別マネジメント計画	マネジメント計画	第4章	施設別マネジメント計画
第4章	将来経費の試算	マネジメント計画	第5章	将来経費の試算
第5章	計画の推進	マネジメント計画	第6章	計画の推進
第6章	現状の問題点について	白書	第5章	現状の問題点について

【別冊(資料編)】

本委託(見直し後)		平成28年・平成30年時(見直し前)		
記載内容		現行の計画	該当内容	
第1章	社会基盤施設の現状と課題	マネジメント計画	第2章	社会基盤施設の現状と課題
		白書	第1章	「鎌倉市社会基盤施設白書」について
第2章	管理数量について	白書	第2章	管理数量について
第3章	インフラの整備状況	白書	第3章	インフラの整備状況
第4章	インフラ管理の財務状況	白書	第4章	インフラ管理の財務状況

1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（1）改訂方針について

検討の流れ



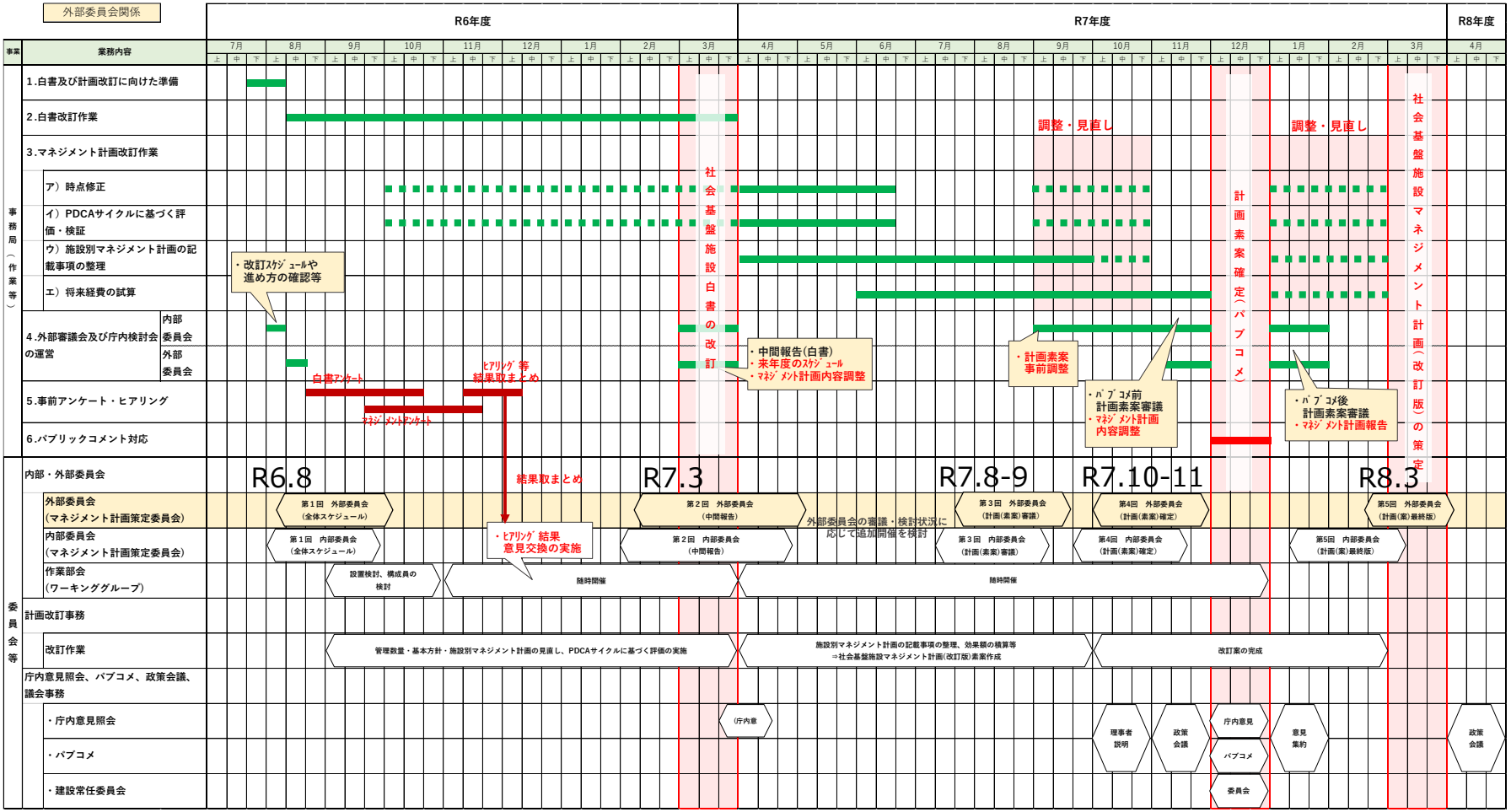
各委員会の主な議題	予定時期
❶全体スケジュール	R6.8
❷中間報告	R7.3
❸計画（素案）審議	R7.8-9
❹計画（素案）確定	R7.10-11
❺計画（案）最終版	R8.3

1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（２）改訂の進め方について（スケジュール・体制等）

改訂スケジュールについて

※詳細：A3資料

・令和6年度の白書改訂、令和7年度のマネジメント計画改訂を目標として委員会を5回実施
・令和6年度は各課とのヒアリング・意見交換を作業部会として実施



各委員会の主な議題　❶全体スケジュール　❷中間報告　❸計画（素案）審議　❹計画（素案）確定　❺計画（案）最終版

1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（２）改訂の進め方について（スケジュール・体制等）

ヒアリング及び事前アンケートの進め方について（作業部会）

着色箇所は各課対応

＜進め方、（ ）は対象者＞
・第１回内部委員会にてアンケート主旨説明（事務局）
・各課に事前回答依頼（事務局）
・アンケート配信、回収（事務局）
・アンケート回答（各課）
・期間中の質問回答（コンサル）
・ヒアリング実施（コンサル、各課）
・ヒアリング結果とりまとめ（コンサル）
・第２回内部委員会にて結果の共有（事務局）

作業項目やスケジュールについて共有（全員）

作業項目		時期の設定（ヒアリングを基準）	事務局		各課
			総務課	コンサル	
内部委員会（第1回）	情報発信	8月上旬	●	●	●
アンケート（白書パート）	作成	8月下旬		●	
	内容確認	9月上旬	●	●	
	配布	9月中旬	●		
	回答（2週間）	9月下旬～10月上旬			●
	とりまとめ	10月上旬～10月中旬		●	
アンケート（マネジメント計画パート）	作成	9月中旬		●	
	内容確認	9月下旬	●	●	
	配布	10月上旬	●		
	回答（2週間）	10月中旬～10月下旬			●
	とりまとめ	10月下旬～11月上旬		●	
ヒアリング	実施	11月中旬		●	●
	とりまとめ	11月下旬～12月上旬		●	
	内容確認	11月下旬～12月上旬	●	●	
WG	結果の共有	12月中旬	●	●	●

Q1.　これまでの取組について課題が多いと感じる項目について選択してください。（必須回答）
- ○　予算確保
- ○　業務量（生産性）
- ○　技術向上
- ○　データ管理
- ○　サービス水準（苦情対応等）
- ○　その他

Q2.　Q1の内容について補足事項があればご回答ください。（自由記述）

アンケートのイメージ（webツール）

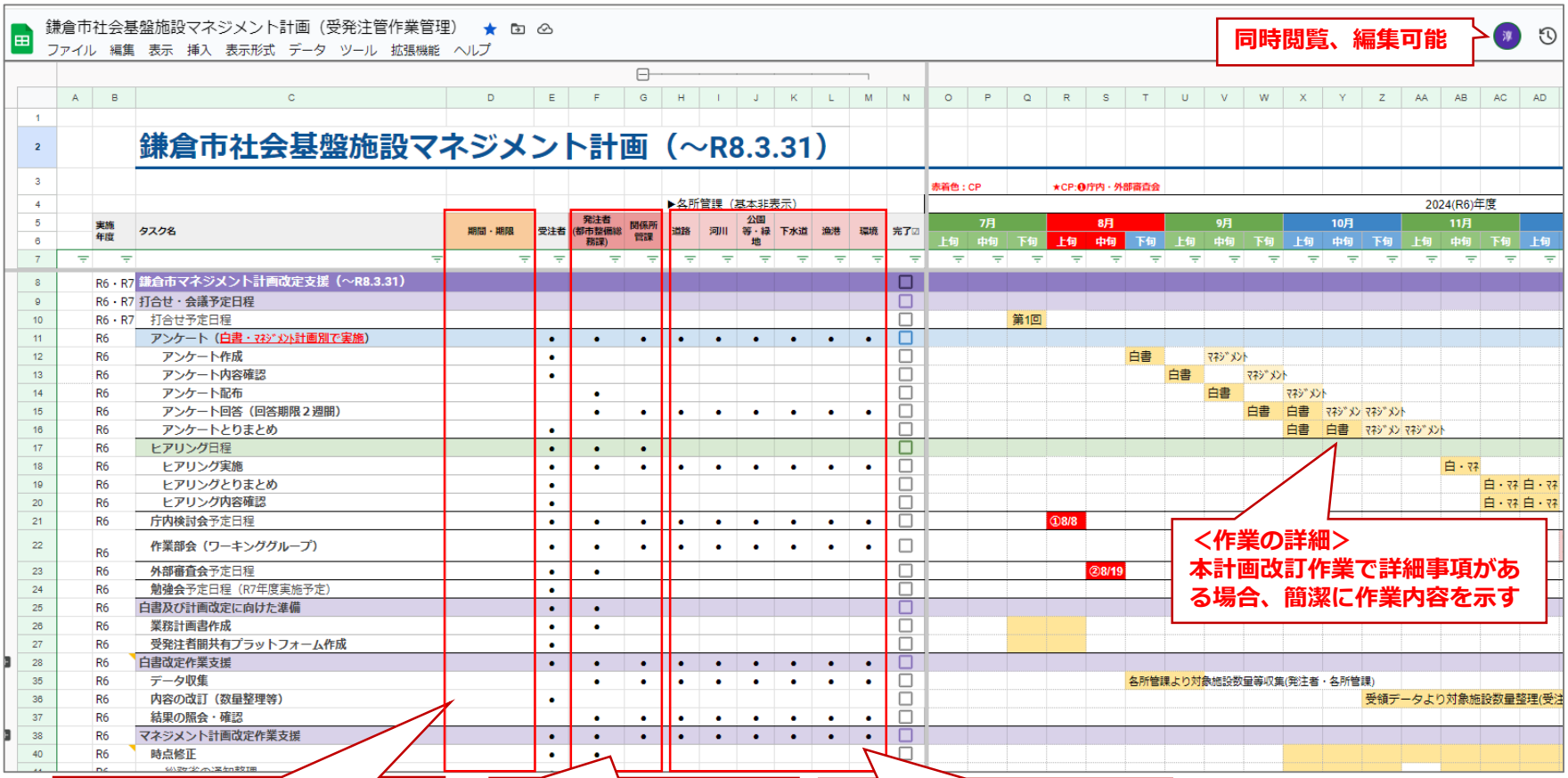
1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（２）改訂の進め方について（スケジュール・体制等）

作業管理ツールについて（作業部会）

・同時閲覧可能な「Googleスプレッドシート」を用いて達成状況及び作業欄を整理し、リアルタイムスケジュール情報共有による作業効率化を図る

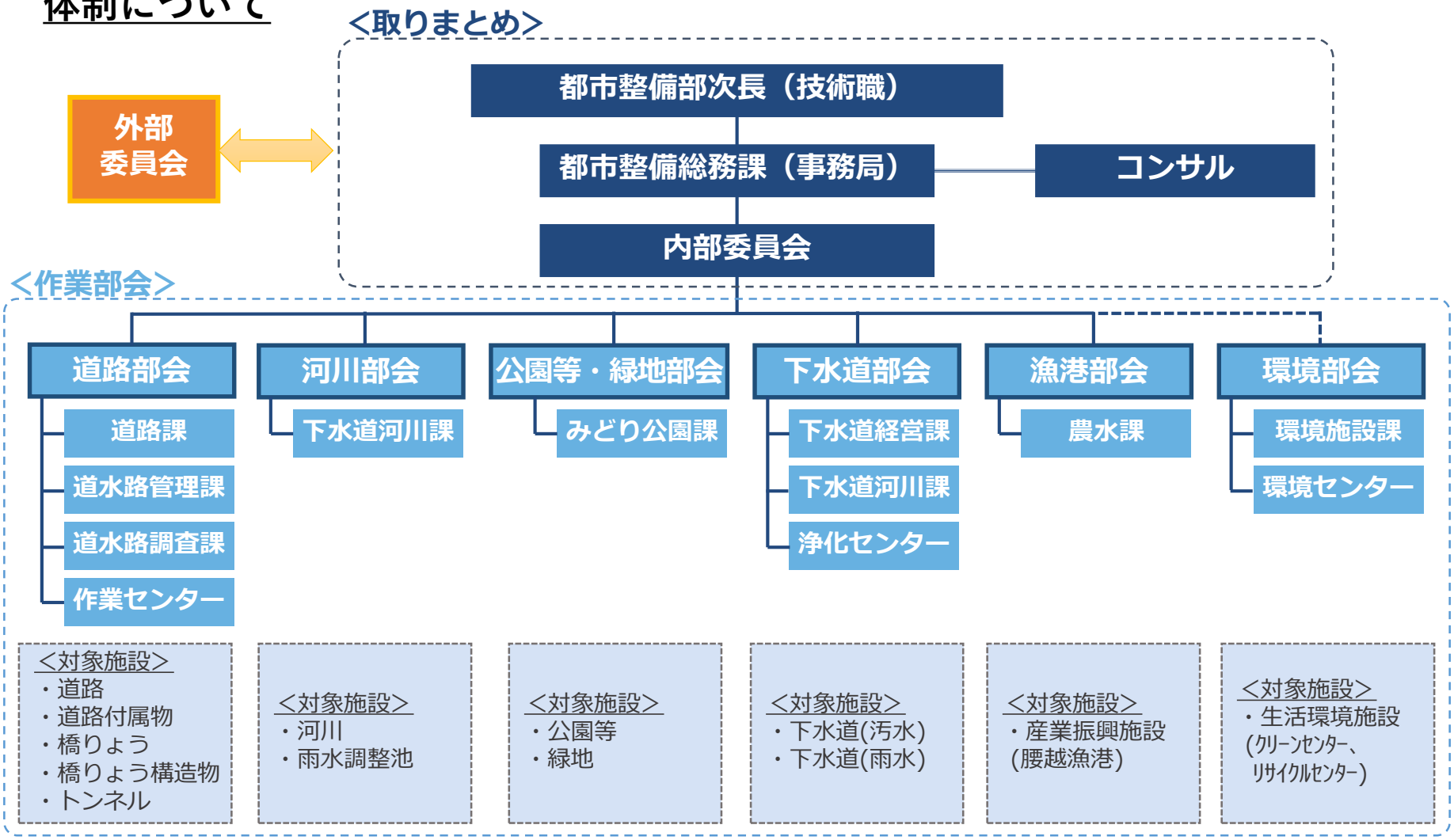
＜作業管理ツール（イメージ）＞

※個人情報等に留意し業務管理実施



1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（２）改訂の進め方について（スケジュール・体制等）

体制について



※各部会は、課長補佐・担当係長級のリーダー１名と部会員の構成とする。

1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（３）これまでの計画の評価について

これまでの計画の評価

社会基盤施設マネジメント計画
施設別施策推進表

令和3年3月5日

担当部課名	都市整備部	都市整備総務課
		土木管理運営事務

施設名称	施設別施策
道路（舗装）	**市民協働と民間事業者の活用の検討**

施策内容	施策の効果
・民間事業者の活用と市民との協働の検討によるインフラ投資の適正化	・市内の道路における施設の破損等の情報「地域での課題」を、ICT（情報通信技術）を使って、市民がレポートすることで、市民と市役所、市民と市民の間で課題を共有し、合理的・効率的に解決する。 ・市内の民間事業者を活用し、道路関連施設における維持管理の合理化を行う。

03

令和2年度　計画工程	令和2年度　計画詳細（取組内容・スケジュール・事業効果など）
道路損傷等通報システムの構築を行う。 市民の実証実験参加者の選定を行い、市民参加による実証実験を行う。	実証実験による不具合箇所を修正し、システム構築を図る。

	進捗状況	達成率（目標率）
第1回（4.30）	—	0%（10%）
第2回（6.26）	政策創造課をとおして、開発元と今後のシステム構築について調整することにした。	0%（30%）
第3回（9.25）	開発元と協定を締結し、市民を含めた実証実験を行う準備を行った。	50%（50%）
第4回（12.15）	市民を含めた実証実験を開始し、実際に道路等の修繕を行い、職員側の対応手順の確認等を行った。	80%（80%）
特記事項	令和2年10月1日から令和3年3月31日まで、市民を含めた実証実験を行う。 実証実験の開始について、令和2年10月1日に記者発表をし、令和2年12月10日に議会建設常任委員会で報告した。 実証実験終了後は、解決できない問題点や課題がない限り本格運用を開始する。 なお、4月以降は道水路管理課にて運用を行っていく。	達成予測 100%

令和3年度へ向けた問題と課題	問題・課題に対する対処法
システム及び市民を含めた実証実験で判明した問題点や課題を整理	3月にプロジェクトチーム（管理者画面側）の打ち合わせを行い、本格運用を開始するにあたっての最終的な調整事項の有無及びその解決方法を確認する。 本格運用を実施するにあたっての周知方法の検討。

※「問題と課題」、「問題・課題に対する対処法」については翌年度の計画工程、計画詳細に反映する。

令和3年度　計画工程	令和4度　計画工程	令和5年度　計画工程
継続 道路損傷等通報システムの導入	道路損傷等通報システムの運用	道路損傷等通報システムの運用
計画詳細	計画詳細	計画詳細
道路損傷等通報システムを実際に運用し、システムの安定を図る。	道路損傷等通報システムを実際に運用する。	道路損傷等通報システムを実際に運用する。

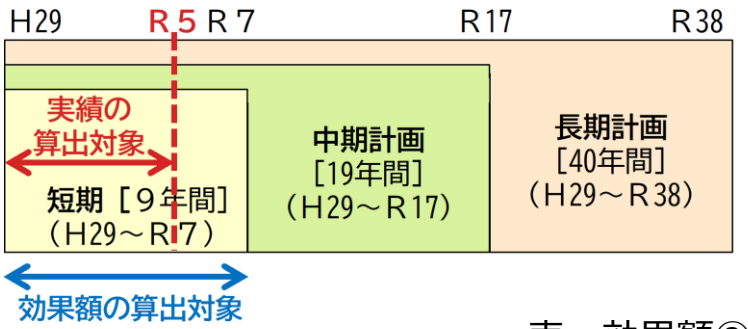
	進捗状況	達成率（目標率）
第1回（4.30）	—	0%（10%）
第2回（6.26）	政策創造課をとおして、開発元と今後のシステム構築について調整することにした。	0%（30%）
第3回（9.25）	開発元と協定を締結し、市民を含めた実証実験を行う準備を行った。	50%（50%）
第4回（12.15）	市民を含めた実証実験を開始し、実際に道路等の修繕を行い、職員側の対応手順の確認等を行った。	80%（80%）
特記事項	令和2年10月1日から令和3年3月31日まで、市民を含めた実証実験を行う。 実証実験の開始について、令和2年10月1日に記者発表をし、令和2年12月10日に議会建設常任委員会で報告した。 実証実験終了後は、解決できない問題点や課題がない限り本格運用を開始する。 なお、4月以降は道水路管理課にて運用を行っていく。	達成予測 100%

- これまでの計画の評価は、年４回の達成率を「施設別施策推進表」に整理
- 達成率については、施設の進捗状況で評価
- 達成状況を踏まえ、今後も継続する施策や見直しが望ましい施策などについて評価・見直し

1　鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画及び白書の改訂について
（３）これまでの計画の評価について

施策の取組実績の評価・検証を踏まえた効果額の算出（結果は第2回で提示予定）

・現行計画のPDCAサイクルを踏まえ、マネジメント計画改訂においては短期計画期間の実績を評価・検証
・施策の取組の視点と手法別に効果額①を算出
・計画の実効性を意識した現行計画評価として現行計画の将来予測値と施策の実績の比較による進捗度を把握（効果額②を算出）



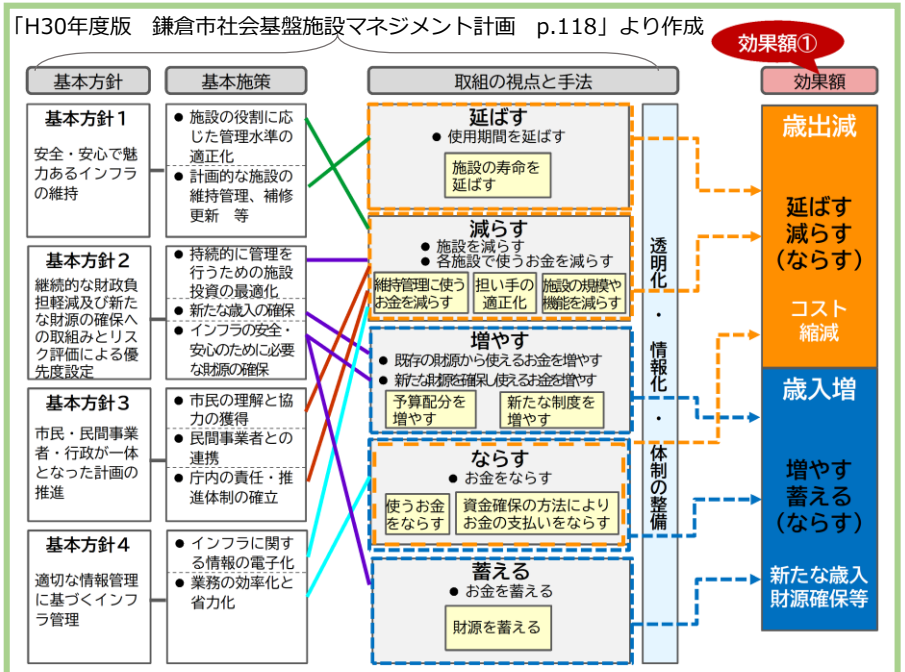


図　効果額①算出方法

表　効果額②算出方法

効果額②

視点	対象施設	マネジメント後経費（A）	H29～R５年度までの実績値（B）	ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ後経費と実績値の差額（C）＝（A）－（B）
延ばす	道路の維持管理経費	2.49億円/年度	2.55億円/年度	-0.06億円/年度【97%進捗】
	橋りょうの補修更新経費	0.34億円/年度	0.32億円/年度	0.02億円/年度【106%進捗】
	河川の維持管理経費	0.20億円/年度	0.21億円/年度	-0.01億円/年度【95%進捗】
	公園等の補修更新経費	3.54億円/年度	3.48億円/年度	0.06億円/年度【101%進捗】
	・	・・・・・	・・・・・	・・・・・

将来予測値

２　その他
・次回委員会について

次回：令和６年度　第２回委員会

時期：令和７年３月中下旬頃予定

議題（案）：

１．短期計画の達成度評価（報告）
２．白書の改定内容のポイント（報告）

３．課題の抽出方針について（審議）
・評価・検証を踏まえたマネジメント計画見直しのポイント
・社会情勢を踏まえた追加施策
・他の市町村の動向等